

# 世界で活躍できる研究者戦略育成事業 「研究 + $\alpha$ の活動支援プログラム」

公募概要説明  
令和2年12月

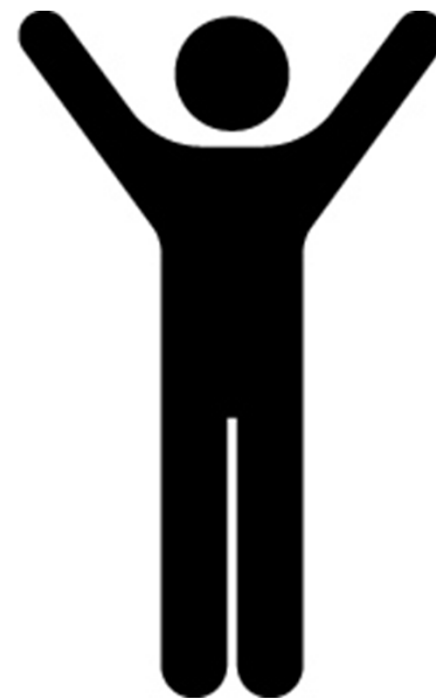
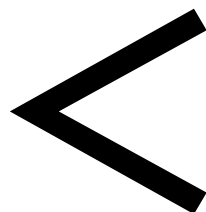


科学技術振興機構

世界で活躍できる研究者育成プログラム総合支援事業

PD 安浦 寛人

# 当事業におけるJSTの取組の特徴



研究そのもの  
に対する支援

研究者の能力成長  
に対する支援

# 世界で活躍できる研究者育成プログラム総合支援事業

## □ 研究者のための + $\alpha$ シリーズ

: 世界で活躍するための研究者能力の成長につながる  
セミナー・ワークショップ等のイベント

## ■ 研究 + $\alpha$ の活動支援

: 研究者能力のうち、世界で活躍するためのネットワーキング力を強化する活動に対する支援

プログラムを試行的に実施しグッドプラクティスを共有してゆきます

# 研究者のための + $\alpha$ シリーズ

- Vol.1 (10/12 セミナー)  
研究者能力開発の重要性を学ぶ
- Vol.2 (11/12 ワークショップ)  
目指す研究キャリアと必要な能力  
を考える
- Vol.3 (2月1日 セミナー)  
Vitae RDFを詳しく学ぶ
- Vol.4 (2月22日 ワークショップ)  
Vitae RDFを使って  
ネットワーキング能力を自己分析する
- Vol.5 (3月予定 セミナー)  
研究者のポテンシャル  
: 起業家精神を学ぶ

文部科学省科学技術人材育成費補助金事業  
「世界で活躍できる研究者育成プログラム総合開発支援事業」

ウェビナー開催

**研究者のための +  $\alpha$  シリーズ**  
Seminar/Workshop Series  
For Researcher Professional Development

**Vol. 1** | 2020年10月12日(月)  
16:00~18:00



**What is Researcher Development?**  
～英国Vitaeがすすめる研究者職能開発とは～

講師

**Dr. Janet Metcalfe**  
The head of Vitae

英国で50年以上前から取り組まれている研究者職能開発の系統を受け継ぎ、2000年はじめに体系化されたプログラム「Vitae」を主導。研究者のキャリア向上にむけた取組みを展開し、およそ20カ国200以上の大学研究機関への普及に貢献。その功績により2019年7月に大英帝国勲章(OBE)を受勲。

功績により2019年7月に大英帝国勲章(OBE)を受勲。

功績により2019年7月に大英帝国勲章(OBE)を受勲。

功績により2019年7月に大英帝国勲章(OBE)を受勲。


功績により2019年7月に大英帝国勲章(OBE)を受勲。

功績により2019年7月に大英帝国勲章(OBE)を受勲。

トピックス

- ・ Why is Researcher Development important?
- ・ The cultural background for the implementation of Researcher Development in UK
- ・ The strategy of Vitae program and its outcomes
- ・ The concrete practice and users' comments
- ・ Researcher Development for the pandemic and beyond
- ・ Q & A

同時通訳



# 「研究 + $\alpha$ の活動支援プログラム」 あなたの力で新しい世界をきりひらく

流れにのるのではなく

「自ら流れをつくりだすひと」を支援

- 世界に通用する高い研究能力
- 明るくて人を魅了する外交能力



影響力やインパクトを高め  
新しい潮流の中心的な存在に

国際コミュニティの中心と  
なるデビューを後方支援

# 若いうちからネットワークの中心になる仕掛けを

国際イベントの主宰



国際学会活動の  
中心的役割



異分野異業種  
交流への参画



- 諸外国では、テニユアの取得のために、研究成果以外に学会活動なども評価される
- 若い時代の同世代の研究者や様々な関連分野の関係者との絆は一生の財産となる
- New Normal 時代における新しい国際学術関係を再構築するタイミング
- 世界的な社会課題解決や新しい学問の流れの中心となってほしい



# 研究+αの活動支援事業が対象とする取組

今回の公募対象

国際イベントの主宰



国際的イベント(国際会議や国際交流イベントの創設、電子ジャーナルや国際学会の設立など)を目指す取組

国際学会活動の  
中心的役割



高水準の既存の国際学会、国際会議、国際ジャーナルでの活動(President, GC, TPC, Editor in Chief など)を目指す取組

異分野異業種  
交流への参画



次年度より実施予定  
(検討中)

# なぜわざわざ仕掛ける必要があるのか

## ■ 良い研究さえすれば国際的な影響力が生まれる、と信じていませんか？



## ■ 自然発生的にお呼びがかかるものではない。ネットワークの形成が重要。 思想や研究哲学も含む対話ができる友人を世界中に持つことが重要。



若いうちに様々な人達と対話を深める「きっかけ」を本プログラムで補完



# 明るくて人を魅了する優秀な研究者を募集します

## 国際イベントの主宰



- ▶ ~500万円/年
- ▶ ~3年支給（年度毎漸減）

## 国際学会活動の 中心的役割



- ▶ ~50万円/年
- ▶ ~3年支給

## 異分野異業種 交流への参画



- ▶ JSTがプラットフォームを御膳立ていたします

**（JSTからのお願い）**  
企画・立案・運営のノウハウや波及効果についてフォローアップ調査させていただきます

# 申請書で求めるものは？

---

- 将来へのシナリオ
- 失敗を恐れない挑戦
- 世界で通用する思想

# 将来へのシナリオ

- 自分の将来展望の長期的なシナリオ
  - ✓何故、この計画は必要なのか？  
(人類にとって、社会にとってなど)
  - ✓何故、自分が適任なのか？
  - ✓何故、今なのか？
  - ✓誰と一緒にやってくれるのか？
  
- 自分のフォロワーに訴えるつもりで！

# 失敗を恐れない挑戦

---

- 失敗しても、責任を取れとは言いません。  
思い切った提案をしてください。
- 既存の学術分野間の壁は意識しないで。
- 世界を主導する流れを作る意思を明確に。

# 世界で通用する思想

- 世界に通用する(あるいはするであろう)オリジナルな思想を表現してください。
- 審査委員はいろいろな分野の先生方です。自分の専門分野の話だけに偏らないで。
- 今の流行に流されず、自ら新しい流れを構想してください。

# 応募への期待

- 次の時代を切り開く新しい学問の潮流の構築に対する挑戦を期待します。
- New Normalの時代、科学技術コミュニティと社会との新しい関係の構築につながるような国際的視野の想定外の提案も期待しています。



# 募集内容① 国際イベント主宰支援

## プログラムの特徴

- 研究ファンドとは異なる、ネットワーク強化のための活動経費。研究ファンドで支出不可の支出対象も一部支出可。
- 所属機関に実施委託。
- 所定の要件を満たせば、研究ファンドとの合算使用も可。

支援期間：令和3年4月1日～3月31日、最大3年間継続

支援経費：上限500万円／年（提案内容によって査定）、但し、2年目以降は漸減

採択件数：5件程度を想定

支援対象：国際的なイベントの開催に係る直接経費、運営のためのサポート経費

公募期間：令和2年12月16日～令和3年2月1日（予定）

選考方法：書類選考＋インタビュー

インタビューは、将来ビジョンに関するプレゼンテーションを想定

# 募集内容② 国際学会活動の中心的役割

## プログラムの特徴

- 国際学会、国際的な評価委員会等においてチェアとしての役割を果たそうとする研究者を公募し、旅費を支援。

支援期間：令和3年4月1日～3月31日、最大3年間継続

支援経費：JSTの規定に基づき、旅費を支出（50万円/回程度を想定）

採択件数：5件程度を想定

公募期間：令和2年12月16日～令和3年2月1日（予定）

選考方法：書類選考＋インタビュー

**公募要領の詳細は  
ホームページからダウンロードし  
ご覧ください**

**熱意ある研究者の応募をお待ちしています**